

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成31年3月東北分
 (東北6県)」について

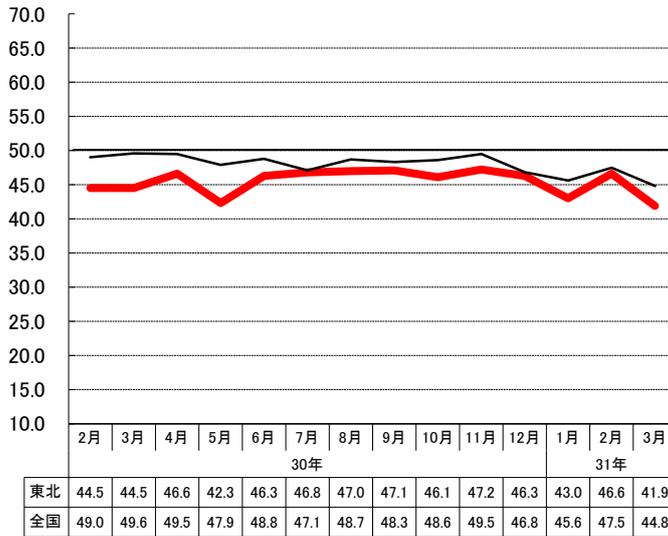
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成31年3月東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「41.9」と2ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲4.7ポイントと大幅に下回った。

現状判断DIの推移

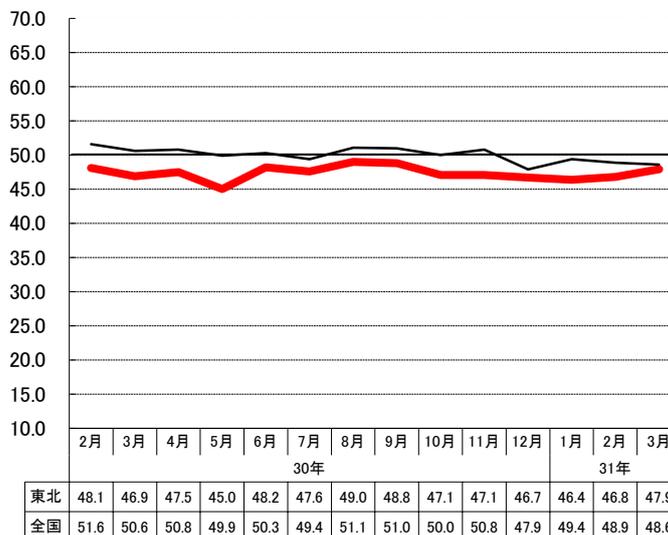


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「47.9」と2ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.1ポイントとやや上回った。

先行き判断DIの推移

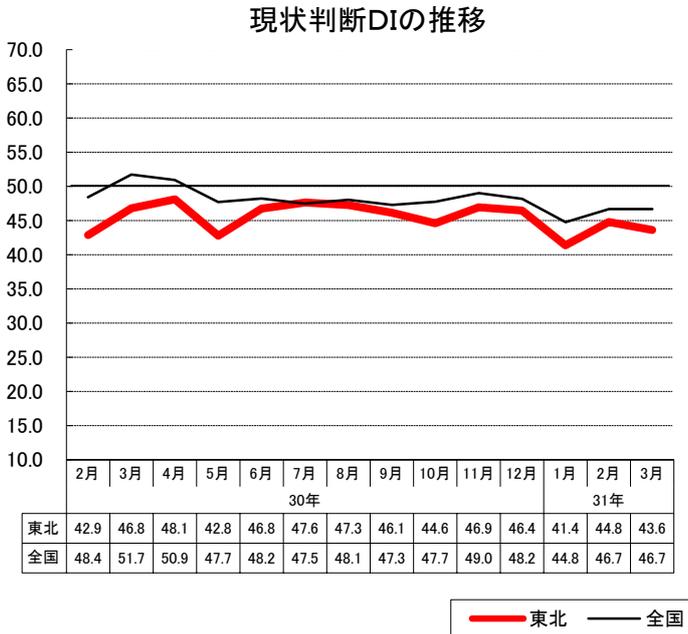


— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「43.6」と2ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲1.2ポイントとやや下回った。



○家計動向関連…ショッピングセンター、コンビニ、旅行代理店の業種等でDIが前月を上回ったが、住関連専門店、一般レストラン、百貨店の業種等でDIが前月を下回った。

DIは「42.1」(▲2.0)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

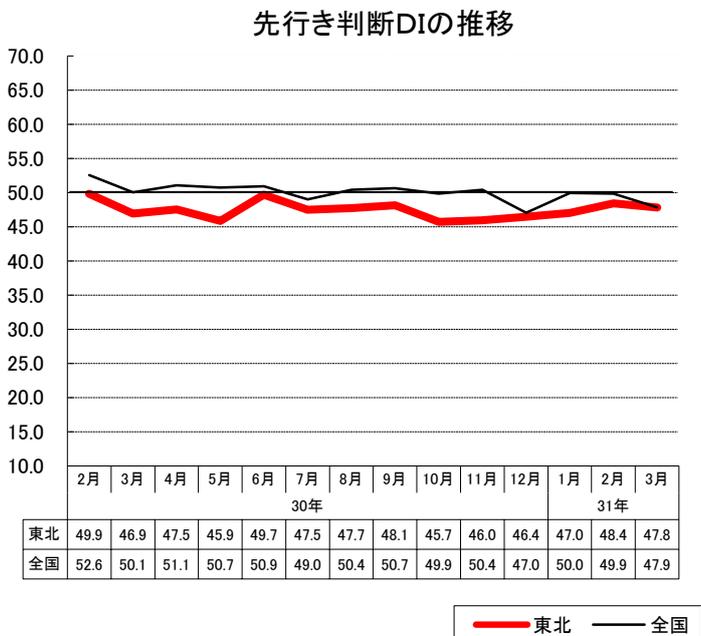
○企業動向関連…窯業・土石製品製造業、金融業、食料品製造業の業種等でDIが前月を下回ったが、広告代理店、食料品製造業の業種等でDIが前月を上回った。

DIは「43.1」(+1.0)と4ヶ月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「53.8」(±0)と、前月と同値、横ばいとなった。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「47.8」と5ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲0.6ポイントとわずかに下回った。



○家計動向関連…観光型旅館、衣料品専門店、観光名所の業種等でDIが前月を下回ったが、都市型ホテル、一般レストラン、コンビニの業種等でDIが前月を上回った。

DIは「48.7」(+0.2)と4ヶ月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…金属製品製造業、輸送用機械器具製造業の業種等でDIが前月を下回ったが、広告代理店、司法書士の業種等でDIが前月を上回った。

DIは「45.8」(+1.7)と2ヶ月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「46.3」(▲10.0)と、2ヶ月ぶりに前月を下回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	30年												31年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北現状	42.9	46.8	48.1	42.8	46.8	47.6	47.3	46.1	44.6	46.9	46.4	41.4	44.8	43.6	
家計動向関連	40.9	45.7	47.4	40.1	46.3	46.7	47.7	44.7	42.3	44.7	45.2	39.3	44.1	42.1	
企業動向関連	45.1	46.6	49.3	45.3	44.4	45.1	43.2	48.0	46.5	50.0	46.6	42.9	42.1	43.1	
雇用関連(参考)	50.0	53.9	50.0	53.9	54.2	57.9	52.6	51.3	55.0	55.0	53.8	51.3	53.8	53.8	

（2）先行き判断D I

	30年												31年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北先行き	49.9	46.9	47.5	45.9	49.7	47.5	47.7	48.1	45.7	46.0	46.4	47.0	48.4	47.8	
家計動向関連	50.9	46.8	46.8	43.9	50.2	46.3	46.6	47.0	45.0	44.9	45.6	47.3	48.5	48.7	
企業動向関連	45.8	45.9	47.9	46.6	47.2	48.6	49.3	50.7	45.8	48.6	45.3	43.6	44.1	45.8	
雇用関連(参考)	51.3	50.0	51.3	56.6	51.4	52.6	51.3	50.0	50.0	47.5	53.8	51.3	56.3	46.3	

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 31年3月 25 日～31 日

回答者数 173/189 名、回答率 91.5%（全国 1,825/2,050 名、89.0%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（コンビニ）…雪が解けたことで客足が戻りつつある。また、除雪代の支払も今月で終わるためほっとしている。

（ショッピングセンター）…暖かい日が続いているため、来客数が増えている。

（旅行代理店）…国内旅行、海外旅行共に、団体個人問わずに予約が伸びてきている。

（観光名所）…日本人客や予約なしの来客数は横ばいであるものの、インバウンド客が伸びており、前年同時期と比較しても非常に好調な予約状況となっている。

（自動車整備業）…3月の販売量が前年比160%となるなど、年度末の駆け込み需要としては前年及び一昨年と比較しても非常に伸びている。

（建設業）…大型の官庁案件や民間案件の受注により、景気は上向きとなっている。

（人材派遣会社）…今月の新規就労者数は過去最高の120名超であり、終了者数が最も多い3月において純増を記録している。また、受注量も前年比20%増を確保できている。

○「変わらない」

（商店街）…今月は穏やかな日が続いたことで、学生や若い人に人気のある飲食関係が好調である。

（スーパー）…売上97%、来客数98%、客単価96%と前期を下回っている。同業他社やドラッグストアの出店による影響が大きく、買上点数や客単価が特に落ち込んでいる。

（家電量販店）…季節商材においてエアコンは好調であるが、暖冬気味のため石油系の暖房商材は余り売れていない。また、冷蔵庫や洗濯機は単価が上がり売上を伸ばしているが、テレビは4K需要が期待していたほどではなく、前年並みとなっている。

（ガソリンスタンド）…暖冬の影響により減少した石油製品の販売量は、結局シーズン最後まで回復していない。

（都市型ホテル）…宿泊に関しては、ビジネス客の減少をインバウンドで埋めている状況が続いている。首都圏のように何十万人という数ではないが、東北の各都市においても宿泊におけるインバウンドの重要性が高まっている。ただし、ブライダルは衰退傾向が続いており、景気に関してはどちらもともいえない状況である。

（設計事務所）…年度末を迎えているが、入金タイミングは5月頃となるため、各社共に厳しい様子である。業者から請求の前倒しの依頼がきている協力会社も出てきており、正規の支払期日を前倒しして対応している。その一方で、3月だけで4件の民間企業からプロポーザルへの参加要請がきている。先行き不透明といわれている業界ではあるものの、このような元気な企業もある。

（リフォーム業）…リフォームにおいて、塗装工事は増えているものの、増改築工事は減少している。また、住宅設備機器は、給湯器や温水ルームヒーターが減少している。

（食料品製造業）…3月は前半の動きが余り良くなかったものの、春休みに入ってからようやく土産関係が動き出している。

（金融業）…取引先に大きな変化はない。引き続き人材確保に苦戦している様子である。

（広告代理店）…来年度に使用する印刷物が多く発注される時期であるが、前年と比較して部数が減少している。

（職業安定所）…求人数の増加幅が縮小しているが、求人に応募する求職者数も減少している。

○「やや悪くなっている」

(百貨店) …前年以上にミセス向けのセミフォーマル需要などの衣料品の動きが鈍い。婦人服に対する消費意欲の低下を、今まで以上に実感している。

(衣料品専門店) …入社関係の来客数は順調に推移しているものの、中心客層となる 50 歳台の来客数が前年を大きく下回っている。

(乗用車販売店) …例年であれば春を迎えて雪も終わりの季節となるが、今年は春分の日以降も降雪が続いているため、客足が遠ざかり動きも悪くなっている。

(住関連専門店) …今月は彼岸のため期待をしていたが、来客数が少なく売上にもつながっていない。

(一般レストラン) …送別会シーズンのため来客数はあるものの、3か月前と比較してコース単価が下がっている。客からも景気は余り良くないという話を聞いている。

(通信会社) …工事事業者の不足により、設備投資をした事業の工事対応が遅れている。そのため、新規加入者の契約ができない状況が続いている。労働者が首都圏などに流失しており、人手不足の影響は1～2か月ほど続くとみている。

(窯業・土石製品製造業) …公共事業の縮小や震災復興需要の減少により、地域間格差はあるものの、東北全体としては出荷量が減少している。

(公認会計士) …小売業関係において、売上、利益共に前年比の落ち込みが回復していない、むしろ悪化している。

(コピーサービス業) …原材料の値上げや物流関係の見直しの動きが続いている。販売価格を上げようと努力しているが、上手くいっていない。

(新聞社〔求人広告〕) …復興需要のピークが過ぎたことにより、沿岸部を中心に求人数が減少している。

○「悪くなっている」

(医薬品販売店) …繁華街では必需品である花屋が3月で閉店している。空き店舗は居酒屋となり営業をしているが、このように必要な店舗が少なくなってしまうことに、景気の悪さを実感している。また、1人で経営している飲食店やスナックなども閉店していると聞いている。

(観光型ホテル) …10連休となるゴールデンウィークの影響なのか、前年より宿泊客数が減少している。

(タクシー運転手) …地元のタクシードライバーは、利用者がいない場合は市内を流さずタクシー乗り場において付け待ち営業をしている。年明け以降は、市街で乗車した客から流しのタクシーをつかまえるために15分以上も待ったといわれることが普通となっている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店) …改元の影響は様々な消費喚起につながると期待している。そのため、景気は多少上向きになるとみている。

(コンビニ) …ゴールデンウィーク以降は、盛夏に向けて来客数の増加が見込める。

(旅行代理店) …ゴールデンウィークや改元などにより、一時的に景気が底上げされるとみている。その後も、夏休みや、消費税の引上げ前の駆け込み需要があるため、9月までは景気が上向くと見込んでいる。

(観光名所) …この先は本格的な観光シーズンとなる。特に今年はゴールデンウィークが10連休となるなど、遠方からの来客が見込めるため、それに伴った土産品などの売上にも期待ができる。

(電気機械器具製造業) …改元に伴うシステム改良などの需要に期待している。

(広告業協会) …改元や10連休となるゴールデンウィークなど、話題が豊富である。商業施設でのイベントなどが活発に行われるため、短期的には売上増につながる見込みである。

○「変わらない」

(スーパー) …3月以降、加工食品を中心に値上げが相次いでいる。消費者は財布のひもを固くしており、少しでも価格が安いドラッグストアに客が流れている。

(衣料品専門店) …スーツを購入する中心客層の動きが鈍いことが気にかかる。改元となることで景気が良くなる話があればいいが、物価の値上がりなどもあるため余り楽観視はできない。

(家電量販店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているが、今のところ動きはない。前年のような猛暑も期待できないため、客の購買意欲も上がっていない。そのため、この先の天候によっては前年を下回る可能性もあるとみている。

(都市型ホテル) …これからは歓送迎会などが出てくるが、学校関係では生徒数の激減により教職員の数も減っているため、1回当たりの人数も減ってきている。また、新入社員の歓迎会も少なくなっているため、宴会部門に関しては厳しい状況が続くとみている。

(食料品製造業) …春からは多くの食品関係が値上げとなる。そのため、し好品の動きは鈍くなるとみている。

(金属製品製造業) …季節要因で忙しくなるものの、平年を上回るかは不透明である。

(通信業) …ゴールデンウィークが10連休と長期のため営業稼働日数が少ない。客も多忙な状態であるため、アポイントが取りづらくなるとみている。

(司法書士) …登記申請件数は例年並みであり、消費税の引上げ前の駆け込み需要はみられていない。

(新聞社 [求人広告]) …ここにきて景気後退論が出始めるほど、今一つ景気浮揚感がないのが実態である。求人の方針業種である地方流通は皇太子殿下の御即位による祝賀ムードや消費税の引上げ前の駆け込み需要に消費拡大のきっかけを期待しているが、この景気後退感を払拭するまでには至らないとみている。

○「やや悪くなる」

(一般レストラン) …消費税の引上げもそうであるが、10連休となるゴールデンウィークも、商売上かなりの足かせとなっている。そのため2～3か月先の景気はやや悪くなっているとみている。

(観光型旅館) …春からの商品値上げや消費税の引上げなど、マイナス要因が目立つ。業種によっては駆け込み需要があるだろうが、全体的には消費の手控えがあるとみている。

(出版・印刷・同関連産業) …紙の印刷物からネットへの切替えや、マイナス金利の影響による金融機関の経費圧縮が響いており、2～3か月先の受注残は前年同月比で5%減少している。

(コピーサービス業) …パソコン関連商品の在庫が少なく、多少の欠品が生じている。数か月の間は生産が間に合わずに品薄状態が続くため、売上の厳しい状況が続く見込みである。

(職業安定所) …事務所訪問などによる感触において、大きな変化はみられていない。しかし、中国、欧州などの動きを不安視しているのか、製造業の新規求人数の前年比は前年7月から減少傾向で推移している。

(人材派遣会社) …10連休となるゴールデンウィークは、派遣事業にとっては大きな痛手となる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上